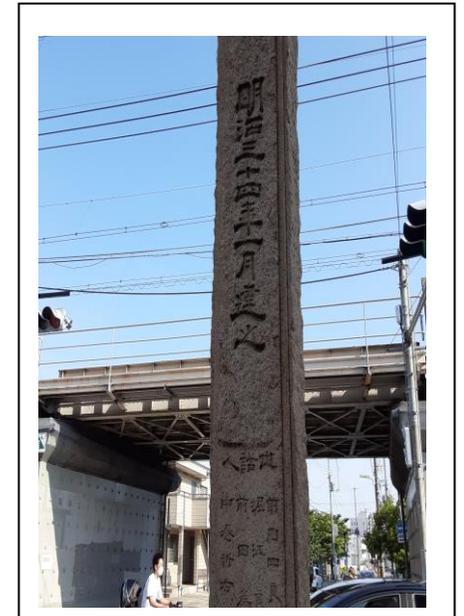
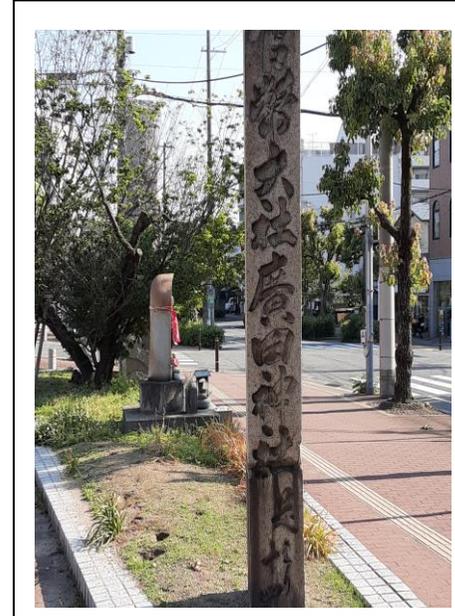


## 廣田神社（西宮の名前の発祥）

- 201 年神功皇后が新羅征伐からの帰り、務古の水門が荒れ、船が進まなくなったときに神慮を問うと天照大神の国土を鎮め、海難の護りとせよとの詔により創建された
- 西宮は元々、武庫郡廣田の荘と称したが、京都から廣田神社を「西の宮」に参ると言ったことから、地名が西宮となった
- 兵庫県内最古の神社。明治 4 年県内唯一の官幣大社に列格
- 明治 7 年境内地を割譲して末社・戎社（今の西宮神社）を県社として独立させた
- 境内 8 社、境外に 12 社を所管（延喜式内:伊和志豆神社、名次神社、岡田神社、西宮神社内の南宮社など）



大鳥居



本殿



摂社(延喜式内社)名次神社



摂社(延喜式内社)伊和志豆神社



# 八幡神社

- ・鳴尾八幡神社:主神(応神天皇)、1440年代鳴尾村の村社
- ・甲子園八幡神社:祭神(誉田別尊)、天照皇大神、天兒屋根等複数)、804年石清水八幡宮から分霊
- ・太市八幡神社:祭神(誉田別尊)、806年元石清水八幡宮より勧請、上下両太市、段上、門戸、高木の郷社
- ・神明八幡神社:祭神(誉田別尊)、創建年代不詳(太市八幡神社から再分祀)、芝村の村社

鳴尾八幡神社



甲子園八幡神社



神明八幡神社



太市八幡神社



## エビス神社

- ・西宮神社: 県社。別表神社。廣田神社の末社(南宮と称す)。全国約3500社あるえびす神社総本社。
- ・岡太神社: 県社(式内社)。恵美須大神は武庫の沖からご来臨になり、最初鳴尾で祀っていたとの口碑あり。鳴尾地域最古の神社。猪を大神の使いとして祀る
- ・今津濱恵比須神社: 蛭子命は海の神になるべく修行をし、人々に漁法や商法を教導するために、今津浦の浜辺に着地し、浜人に教えたのち、西宮神社本宮に入った。

祭神:(蛭子命)伊弉諾・伊邪那美の第一子として生まれたが、不具の御子であったため葦の船で海に流された。その後神戸沖に漂着し、「夷三郎殿」と称され、海を司る神として祀られた。和田岬沖に出現した蛭子命のご神像を鳴尾の漁師が引き上げ自宅で祀ったが、ご神託が下り西の方に改めて祀った。傀儡子(西宮が発祥の地)が恵比寿信仰を全国に広めた

恵比寿神伝説地



傀儡子古跡



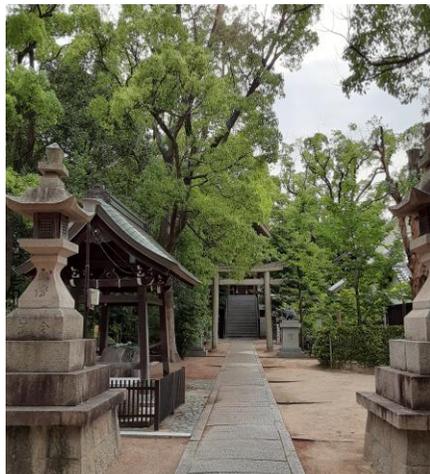
西宮神社(本殿)



西宮神社(赤門)



岡太神社



今津濱恵比須神社



## 西宮三福神

- 西宮神社:(前出)
- 越木岩神社:(祭神)市杵島姫命(俗称:弁財天)ご神体は「甕岩」(周囲約40m、高さ約10mの花崗岩。大坂城築城の際切り出されそうになるが、災いが生じ運び出せなかった)延喜式神名帳(927年)には大国主西神社と記録。
- 福應神社:(祭神)八重事代主大神。県社。創建年代不詳。大和三輪の古社から勧請。名神高速西宮 IC 建設のため現在地に遷座。

各神社は秋祭りに神輿を出して町内を練り歩く。

福應神社(本殿)



福應神社(神輿)



越木岩神社



越木岩神社(本殿)



越木岩神社(ご神体)



福應神社(祭り)



## 神社

- 高木熊野神社:(祭神)伊邪那美尊、村社、1293年~1299年にかけて若王子神社として創建。1624年熊野那智大社より那智大神を勧請。明治6年現在の名称へ。全国で唯一の算学(日本数学の祖毛利重能)の神社。熊野神社は全国に3000社あり
- 住吉神社:(祭神)住吉大神。1805年西宮の米商當舎屋金兵衛が西宮港を沖へ出すのに埋め立てて突堤を造成。工事の成就を祈願して、住吉大神を勧請。江戸時代は下り酒の積出港。住吉神社は全国に2300社あり
- 白山姫神社:(祭神)菊理姫尊、白山姫大神。1500年代正親町天皇の時代に加賀国白山比咩神社より勧請。

熊野神社



熊野神社(本殿)



住吉神社



住吉神社



白山姫神社



白山媛神社



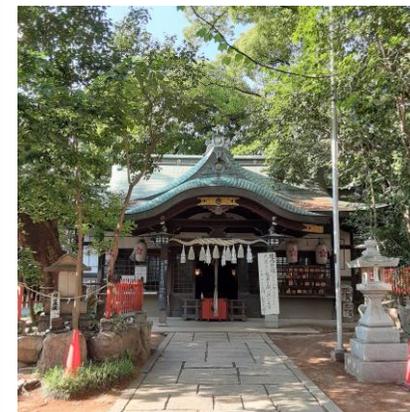
## 神社

- 松原神社(松原天満宮):祭神(菅原道真)菅原道真が筑紫に流されるときこの地で休憩した。その死後祠を建て祀った。天満宮は全国に1万2000社ある。近くに染殿池があり。漢織姫、呉織姫が機織りの技術を伝えたという神社がある。町名も染殿町
- 津門神社:祭神(天照皇大神、毘沙門天、思意思兼神)漢織姫、呉織姫が日本に来た時彼らが祀る神(大日如来)を勧請して創立。菅原道真が左遷の旅の途中で休憩した。
- 津門日吉神社:祭神(大山咋神)、約400年前瓦林氏の武将野田氏が近江の日吉大社より天照皇大御神とともに拝祀。日吉・山王神社は全国に3800社余りあり。

松原神社



松原神社



染殿池



津門神社



津門日吉神社



津門日吉神社



津門神社



## 神社

- 甲子園素戔鳴神社:祭神(素戔鳴命)創建年代不詳。江戸時代までは牛頭天王社と称した。廃仏毀釈を受けて祭神素戔鳴命に改めた。
- 須佐之男神社:祭神(須佐之男命、天照皇大神、建御名方神)狭い境内に10以上の末社がある。廣田神社の境外末社

\*素戔鳴:日本書紀での表現

\*須佐之男:古事記での表現

- 巖島神社:祭神(市杵島姫命)創建由緒は不詳。1637年頃には存在していた。瓦林氏が凋落したあと上瓦林村全域の元宮となる。

甲子園素戔鳴神社



甲子園素戔鳴神社(野球塚:岡田寄贈)



甲子園素戔鳴神社(星野揮毫)



巖島神社



須佐之男神社



須佐之男神社



# 神社

- 日野神社:祭神(天照大神、豊受大神、春日大神)1336年赤松則村の家臣貴志氏が築城した。その後瓦林氏が居城し、城内に日野神社を創建した。
- 若宮神社:廣田神社の境外摂社
- 武甕槌神社:(祭神)武甕槌命。廣田神社の末社
- 南宮神社:廣田神社の境外摂社。西宮神社の敷地内にあるが、西宮神社の案内図には出てこない。
- 櫻翁稲荷大明神:日本昔話に登場する神社。
- 東鳴尾皇大神社:祭神(天照皇大神)、徳川綱吉の命により勧進。地域の守護神となった
- 上野神社:(祭神)天照皇大神、安産の神様

日野神社



瓦林城址(日野神社)



若宮神社



南宮神社



櫻翁神社



東鳴尾皇大神社



上野神社(本殿)



武甕槌神社

